

平成29年度 旭市水道事業会計決算の概要

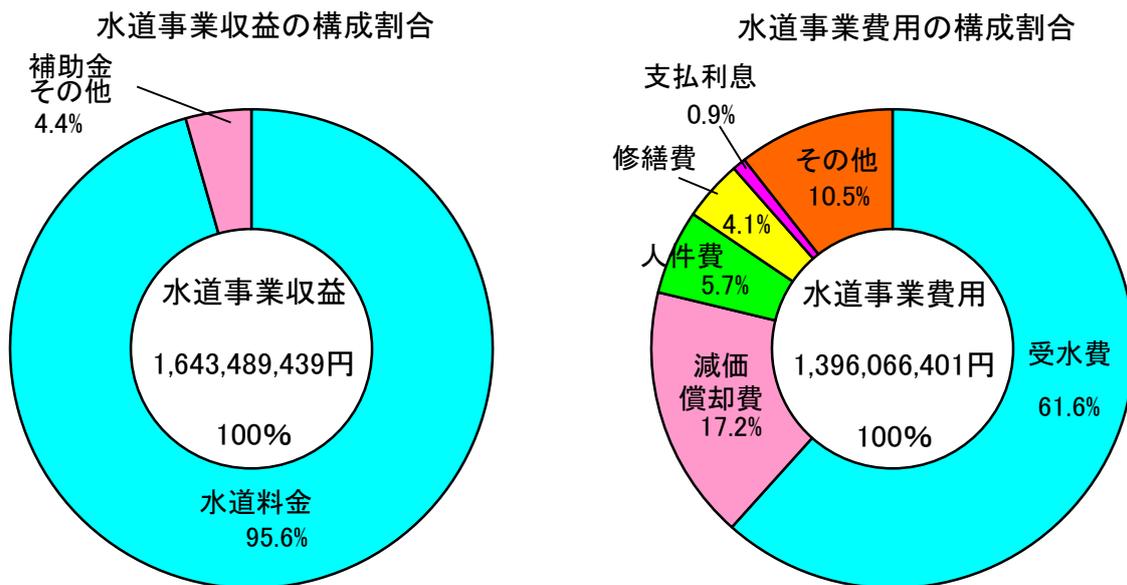
※金額は、消費税及び地方消費税を含む。

1. 決算の内訳

《収益的収支》

収益的収支とは、水道施設の運転・管理など、事業を運営するための収支のことです。

具体的には、収入は主に水道料金で、支出は受水費(東総広域水道企業団から水道水を購入する費用)、減価償却費、人件費、修繕費などです。



(単位:円)

	予算額	決算額	予算額に比べ 決算額の増減
水道事業収益	1,577,855,000	1,643,489,439	65,634,439
営業収益	1,522,185,000	1,588,136,141	65,951,141
(うち水道料金)	(1,504,905,000)	(1,571,219,341)	66,314,341
営業外収益	55,670,000	55,353,298	△ 316,702
水道事業費用	1,428,360,000	1,396,066,401	△ 32,293,599
営業費用	1,380,860,000	1,350,670,360	△ 30,189,640
(うち受水費)	(859,575,000)	(859,574,807)	(△ 193)
営業外費用	45,357,000	45,354,605	△ 2,395
特別損失	1,084,000	41,436	△ 1,042,564
予備費	1,059,000		

消費税引き後純利益は、237,704,260円になりました。

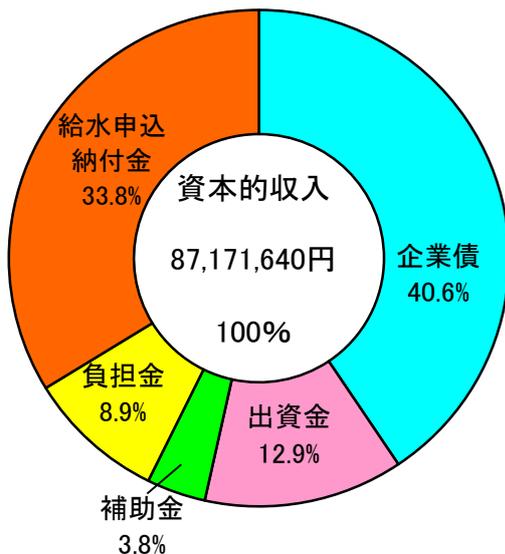
※特別損失とは、不納欠損処理額などです。

《資本的収支》

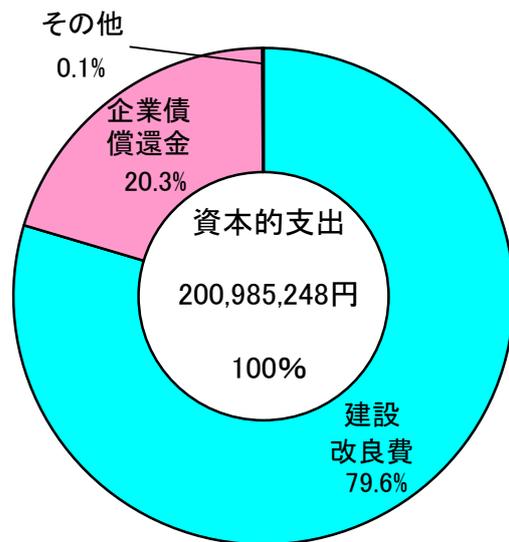
資本的収支とは、水道施設を建設・整備するための収支のことです。

具体的には、収入は企業債(借入金)、出資金、負担金、給水申込納付金などで、支出は主に建設改良費(海上配水池耐震補強工事や水道管の布設工事など)、企業債償還金(借入金の返済)です。

資本的収入の構成割合



資本的支出の構成割合



(単位:円)

	予算額	決算額	予算額に比べ 決算額の増減
資本的収入	208,177,000	87,171,640	△ 121,005,360
企業債	93,600,000	35,400,000	△ 58,200,000
出資金	53,300,000	11,200,000	△ 42,100,000
補助金	4,500,000	3,330,000	△ 1,170,000
負担金	18,294,000	7,796,520	△ 10,497,480
給水申込納付金	38,483,000	29,445,120	△ 9,037,880
資本的支出	418,001,000	200,985,248	△ 217,015,752
建設改良費	357,188,000	160,013,985	△ 197,174,015
企業債償還金	40,813,000	40,812,371	△ 629
その他	159,000	158,892	△ 108
予備費	19,841,000		

資本的収支の不足額 113,813,608円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 9,615,688円、減債積立金 40,750,590円、過年度分損益勘定留保資金 38,047,330円で補てんしました。なお、不足する額 25,400,000円については29年度同意済企業債の未発行分 25,400,000円をもって翌年度に措置します。

※消費税及び地方消費税資本的収支調整額とは…資本的支出に係る消費税・地方消費税から資本的収入に係る消費税・地方消費税を差し引き、内部に留保されている資金です。

※減債積立金とは…企業債の償還に充てるための積立金です。

※損益勘定留保資金とは…企業会計上、減価償却費などの現金の支出を伴わずに内部に留保されている資金です。

2. 業務量

項目	業務量
給水件数	20,403件
年間給水量	5,958,377立方メートル
1日平均給水量	16,324立方メートル
主な建設改良事業	海上配水池耐震補強工事 岩井地区配水管布設工事 三川地区配水管布設工事 横根地区配水管布設替工事 二地区配水管切廻し工事 事業費 計 100,753千円

※主な建設改良事業のうち、海上配水池耐震補強工事については平成29年度出来形金額を計上しています。なお、予算額については翌年度へ65,061,235円を事故繰越しています。